

四十八の神は性別が無いので、1名の親から50名（男25名・女25名）の子が生まれます。
 国津神くにづかみ以下は男女性別が分かれているので、一組の夫婦から100名の子供が生まれます。
 100名の子供の性別の振り分けは、男50名：女50名と分かります。

5 四十八の神よとやかみの48名から各50名の子が生まれたので、
 （男女一体神・性別が無い） 四十八の神の子＝国津神くにづかみの親は2400名。

国津神くにづかみ・親の代、1200組の夫婦から各100名の子が生まれたので、
 （2400名） 国津神くにづかみの子は12万名。

10 国津神くにづかみ・子の代、6万組の夫婦から各100名の子が生まれたので、
 （12万名） 国津神くにづかみの孫は600万名。

15 国津神くにづかみ・孫の代、300万組の夫婦から各100名の子が生まれたので、
 （600万名） 国津神くにづかみの孫の子＝現津神あきづかみの親は3億名。

現津神あきづかみ、1億5千万組の夫婦から各100名の子が生まれたので、
 （3億名） 現津神あきづかみの子は150億名。

20	【親神】	(夫婦の数)	(子神の数)	【子神】	
	四十八の神	48	× 50 = 2400	国津神 <small>くにづかみ</small> (親)	(男、女 それぞれ 1200名)
	国津神 <small>くにづかみ</small> (親)	1200	× 100 = 12万	国津神 <small>くにづかみ</small> (子)	(男、女 それぞれ 6万名)
	国津神 <small>くにづかみ</small> (子)	6万	× 100 = 600万	国津神 <small>くにづかみ</small> (孫)	(男、女 それぞれ 300万名)
	国津神 <small>くにづかみ</small> (孫)	300万	× 100 = 3億	現津神 <small>あきづかみ</small> (親)	(男、女 それぞれ 1億5千万名)
25	現津神 <small>あきづかみ</small> (親)	1億5千万	× 100 = 150億	現津神 <small>あきづかみ</small> (子)	(男、女 それぞれ 75億名)

30 四十八の神よとやかみとその子孫＝地上を担当する御神霊ごしんれいの数は、153億612万2448名です。
 （現在は、更に元龍神の国津神612万名が加わり、153億1224万2448名。）

150億以上も神がいれば、邪よこしまな神や、悪い事を教える神もいます。
 正しく育った神は1割だけです。（一人前の事が出来ない神が9割いるということです）

※これは、会発足当初（平成18年10月現在）の割合です。

35 現在は、御神霊へのお諭しが進んでいるので、この割合はどんどん上がっています。
 この正しく育った1割の神（約15億）の分身が、神の魂をもった人間として人間界に降りてきます。（神の魂を持った人間は、本体の御神霊の分魂にあたります。）

この内の、

- 40 ① 約10%（約1億5千万）・・・分魂が肉体をもって人間として生活している。
 （本体の御神霊は、分魂の守護神《62P》として活動。）
- ② 約20%（約3億）・・・・・・・・分魂が幽界で修行している。（死後は殆どの人が地獄に落ちる）
 （分魂が修行して元の神界まで上がると本体と一体になる。）
- 45 ③ 約70%（約10億5千万）・・・本体と分魂が一体となって神界で活動している。